

主日礼拝

2026 年 08 月 30 日
午前 10 時 30 分前奏 「主のみ名によりて来たる者よ」
(F.クーブラン)

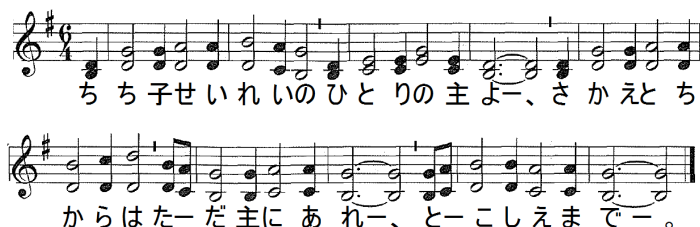
参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、10 兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。」

(ローマ 12:9,10)

頌栄 27 「父・子・聖霊」



交読詩編 62:6～9

司式者：わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。

会 衆：神にのみ、わたしは希望をおいている。

司式者：神はわたしの岩、わたしの救い、砦の塔。

会 衆：わたしは動揺しない。

司式者：わたしの救いと栄えは神にかかっている。

会 衆：力と頼み、避けどころとする岩は
神のもとにある。

司式者：民よ、どのような時にも神に信頼し

会 衆：御前に心を注ぎ出せ。

みんな：神はわたしたちの避けどころ。

賛美 17 「聖なる主の美しさと」

Worship the Lord in the beauty of holiness
詞：John S. B. Monsell, 1811-1875MONSELL
曲：William F. Sherwin, 1826-1888

- 1 聖なる主の美しさと
その栄えを 仰いで、
まごころもて 前に立ち
み名をたたえ、あがめよう。
- 2 重荷すべて 主が代わって
負ってください うれしき。
悩み多い 世の旅路も
みちびく 主のみ恵み。
- 3 心つくし 主に仕えよう。
とるに足らぬ 私の
愛のわざも、身も心も
主は受け入れ、よろこぶ。
- 4 やみをかえて 光とする
主の恵みの 貴さ。
望みは湧き、おそれは消え、
胸に満ちる よろこび。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」



聖書 コリントの信徒への手紙Ⅰ

12:27~13:13 新約(新共同訳)P316~P317

27 あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。28 神は、教会の中にいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に病気をいやす賜物を持つ者、援助する者、管理する者、異言を語る者などです。29 皆が使徒であろうか。皆が預言者であろうか。皆が教師であろうか。皆が奇跡を行う者であろうか。30 皆が病気をいやす賜物を持っているだろうか。皆が異言を語るだろうか。皆がそれを解釈するだろうか。31 あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。そこで、わたしはあなたがたに最高の道を教えます。13:1 たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。2 たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。3 全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。4 愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。5 礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。6 不義を喜ばず、真実を喜ぶ。7 すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。8 愛は決して滅びない。預言は廃れ、異言はやみ、知識は廃れよう、9 わたしたちの知識は一部分、預言も一部分だから。10 完全なものが来たときには、部分的なものは廃れよう。11 幼子だったとき、わたしは幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えていた。成人した今、幼子のことを棄てた。12 わたしたち

は、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔とを合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる。13 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

賛美 201 「天使のことはも」

Not for tongues of Heaven's angels
詞：Timothy Dudley-Smith, 1926—

BRIDEGROOM
曲：Peter Cutts, 1937—

1 てん しの こと ばも、ち え の こと ば も、
2 あい と は にん た い、あ い は や さ し さ、
3 し そ う は す ぎ た ら、し ん こ う に た ち、
4 そ の 日 が き た な ら、し ん こ う に た ち、

や ま を も う ご か す し ん こ う さ え も、
た か ぶ る こ と な く、あ い は ね た ま ず、
こ の 世 の す べ て が き え ゆ く と き も、
き ぼ う に あ ふ れ て、と も に よ ろ こ ぼ う、

あ - い が な け れ ば。
あ - い は ま え こ ろ。
あ - い の し ょ う り を。

- 1 天使のことはも、知恵のことはも、 3 思想は過ぎ去り、知識も廃れ、
山をも動かす 信仰さえも、 この世のすべてが 消えゆくときも、
愛がなければ。 愛は永遠。
- 2 愛とは忍耐、愛はやさしさ、 4 その日が来たなら、信仰に立ち、
高ぶることなく、愛はねたまず。 希望にあふれて、共に喜ぼう、
愛はまごころ。 愛の勝利を。

説教 「人を大切にする」

賛美 505 「歩ませてください」

O Master, let me walk with thee
詞：Washington Gladden, 1836—1918

MARYTON
曲：Henry P. Smith, 1825—1898

1 あゆま せ て く だ さい、 しんじ つ も と - め て
2 みちび い て く だ さい、 あいの み こ と - ば で
3 さとら せ て く だ さい、 たじろ ぐ こ と - な く
4 あゆま せ て く だ さい、 みあと に し た - が い、

ろ う く を お し - ま ず つ か え あ う み - ち を。
主よ、こ の わ た - し を な す べ き つ と - め に。
ふ せ い に う ち - か つ し ん こ う の み - ち を。
き ぼ う に か が - や く へ い わ へ の み - ち を。

1 ^{あゆ}歩ませてください、^{しんじつ}真実もとめて ^{さと}悟らせてください、^{たじろぐ}ことなく
^{ろうく}労苦を^お惜まず ^{つか}仕え^{みち}あう道を。 ^{ふせい}不正に^{しんこう}うちかつ ^{みち}信仰の道を。

2 ^{みちび}導いてください、^{あい}愛のみ^{ことば}言葉で 4 ^{あゆ}歩ませてください、^{したが}みあとに従い、
^{しゅ}主よ、この^{わたし}私を ^ななすべき^{つとめ}つとめに。 ^{きぼう}希望に^{かがや}輝く ^{へいわ}平和への^{みち}道を。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏「主よ、わが主よ愛の主よ(I-526)」
(M.キム)

司 式 大代 恵
説 教 向井 希夫牧師
奏 楽 玉理 照子